

# 省エネルギーの組み立て方と 今後のエネルギー事情

---

エナジークラフト株式会社

日本の省エネルギー元年

第4次中東戦争の勃発

1973年

アラブ諸国によるイスラエル支援国への石油輸入の禁止  
日本のエネルギー消費の60%を中東に依存、備蓄量67日分



石油依存型の社会構造 & 資源を持たない国の現実

資源の有効活用

=

生産性の高いエネルギー利用

省エネルギー

無駄なエネルギー利用の排除

## 省エネルギーの2つの目的

資源の有効活用

地球温暖化防止



温室効果ガスの発生抑制

## 省エネルギーの2次的効果

経費(水光熱費)の削減

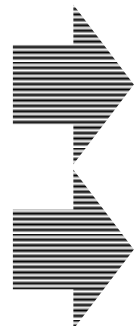


省エネルギーを推進する第一の目的



## 省エネルギーの2つの方法

削減する方法



無駄な不適切な使用の排除

効率化する方法

性能・方法・構造の改善

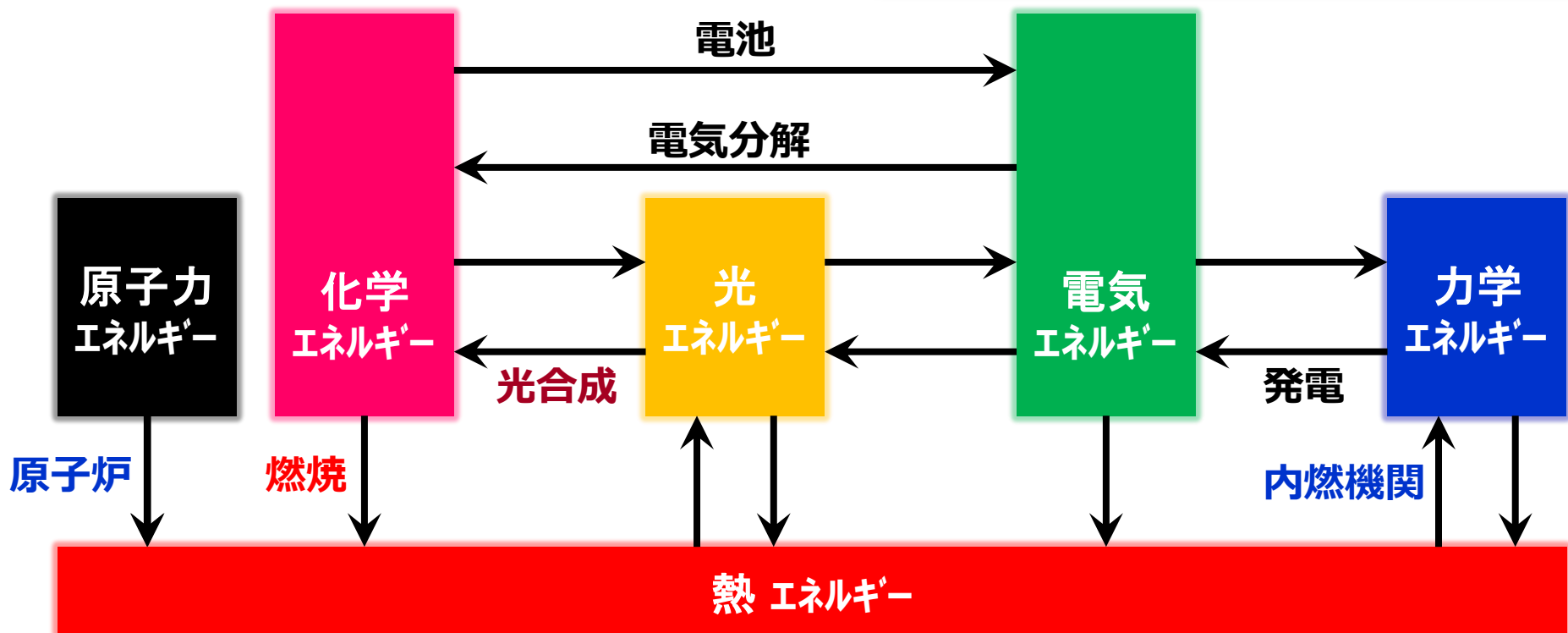
エネルギーは姿を変える

エネルギーは保存される

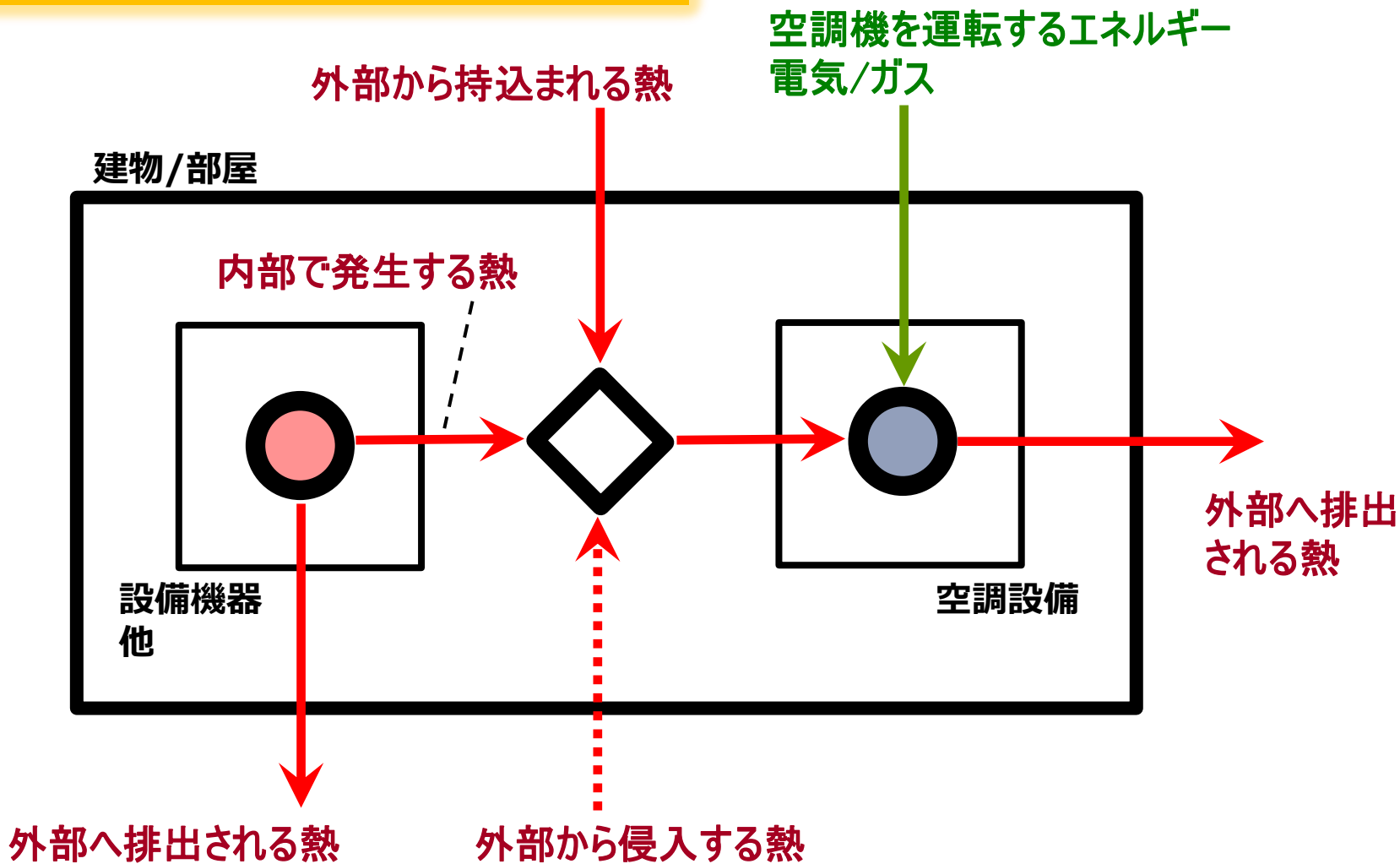


エネルギー消費量は  
エネルギー流量を意味する

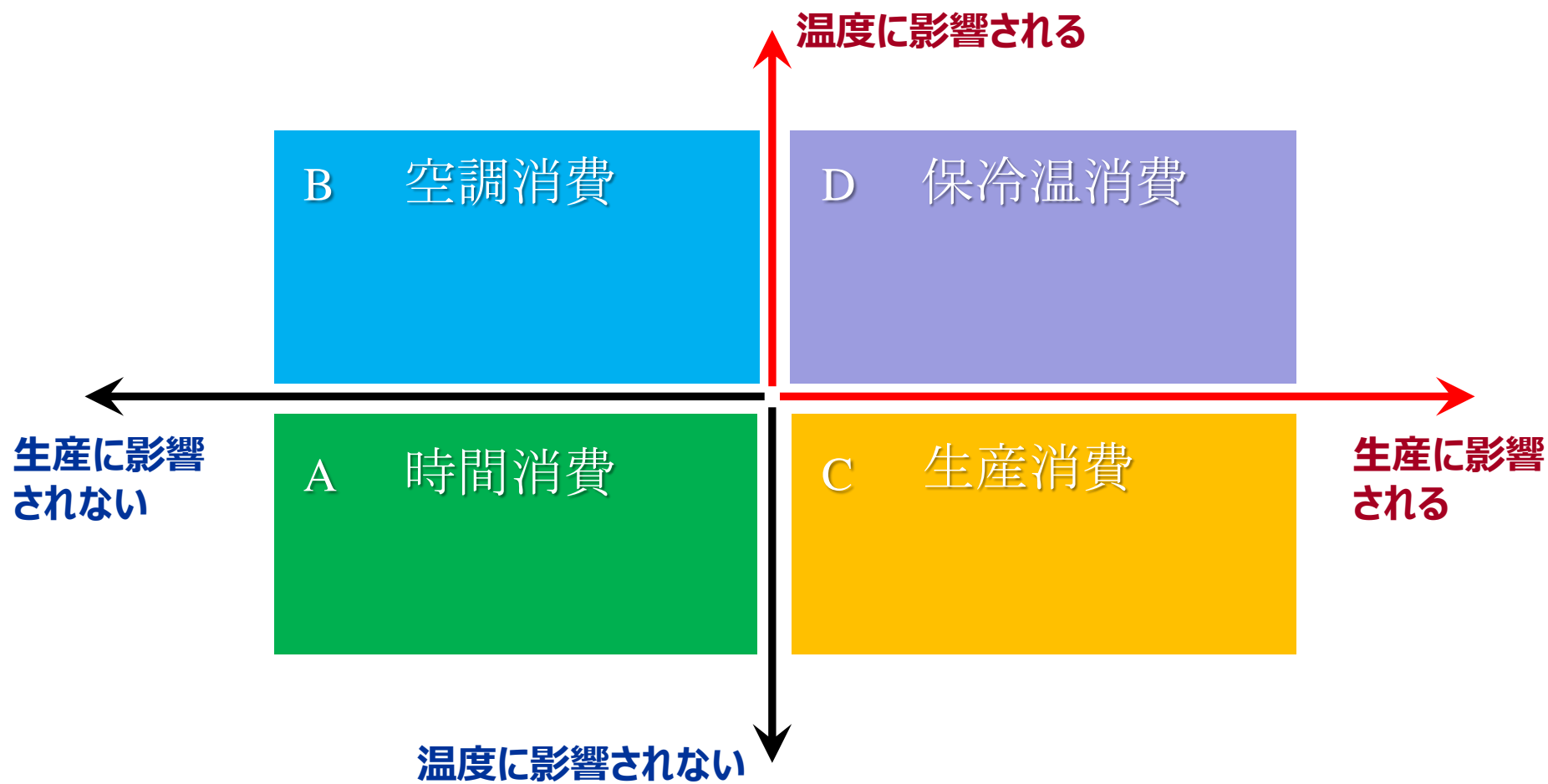
省エネルギーは削減の為の  
エネルギーの流れの制御



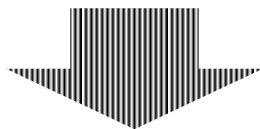
# 冷房空調のエネルギーの流れ



# 設備機器のエネルギー消費区分



# 省エネルギーのための第一歩



- ① エネルギー消費量の把握
- ② (事業)活動とエネルギー消費の関係の把握

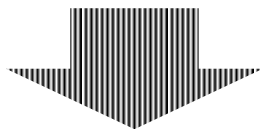
どれくらい？

エネルギー  
消費

何で、どこで？



## 省エネルギーの基本的手法



- ① 設備・機器の能力を最大化させる環境整備
- ② 設備・機器の適正(正しい)使用
- ③ タイムマネジメント(時間管理)
- ④ エネルギー消費体質の改善
- ⑤ エネルギー消費効率の向上

## 省エネルギー 6のステップ

Step1 無駄なエネルギー消費の排除

Step2 不要な負荷の排除

Step3 エネルギー消費条件の適正化

Step4 高効率な設備機器の導入

Step5 エネルギー消費環境の改善

Step6 エネルギー源の改善

▶ ③タイムマネジメント

▶ ①能力の最大化  
②適正使用

▶ ④消費体質改善  
⇒ 使い方を考える

▶ ⑤消費効率向上  
⇒ 投資での対応

▶ ④消費体質改善  
⇒ 全体を考える

▶ ⑤消費効率向上

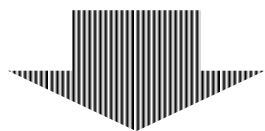
# 「エネルギー基本計画」に見る国内外の課題

## 日本

海外資源に大きく依存  
原子力発電への懸念  
化石燃料依存の増大  
電源構成変化による電気料金上昇  
生産部門の不振、拠点海外流失  
国富の流失、内需冷込み

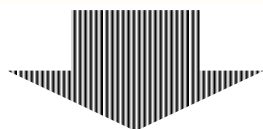
## 世界

新興国エネルギー需要拡大  
中東・北アフリカ地域の不安定化  
北米のシェール革命  
国際的エネルギー需給の変化  
新興国の原子力導入拡大  
温室効果ガスの増大

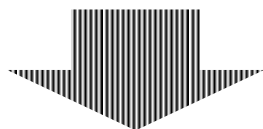


エネルギー消費効率の向上 & エネルギー消費量の削減

## 現状から言えること



- ① 水光熱費の上昇（支出増加、利益圧迫）
- ② エネルギー消費削減への各種要請の増加
- ③ エネルギー政策の（事業）活動への影響度拡大



- ① エネルギー問題は自身の問題と意識すること
- ② 自らのエネルギー状況・体制を把握すること
- ③ 自らに合った対応（最適対応）を常に考えること



**END**